

# 新年度 塾生募集

2024年3月4日(月)より新学期開講

※時間割(曜日)については  
各校舎にお問い合わせ下さい

## 中学生

### 一人ひとりをきちんと見る

神田塾は、授業の基本形態は一斉授業です。良い意味で競い合い、共に伸びるという点では、ある程度の人数で授業を行った方がよい事を私たちは経験的に知っているからです。しかし、一人ひとりをしっかりと見る、という神田塾として当たり前の点からすれば、例えば、一人ひとりのノートをしっかりとチェックする、成績をチェックし、勉強法をアドバイスし

たり、志望校を決めたり、あるいは将来の進路についてアドバイスをおくる等を考えた場合、私たちは適正人数は1クラス15名程度と考え、実際にそのようにクラス設定をしています。ノートをきちんとチェックすること(コメントも書くとかなりの時間を要しますが、宿題ノート等提出してもらったものについては必ず行っています)、励まし等の声かけをすること、ご家庭と連絡を取り合う事等、お預かりしている塾生一人ひとりをきちんと見させて頂く事は当然の、私どもの使命と考え、日々行動しています。



学年	中学3年生	指導内容
クラス※①	H・E・S ※②	
指導科目	英・数・国・理・社	週3回／19:20～21:50
受講料(月額)	23,550円(税込)	
学年	中学2年生	指導内容
クラス※①	H・E	
指導科目	英・数・国・理・社	週3回／19:20～21:50
受講料(月額)	22,550円(税込)	
学年	中学1年生	指導内容
クラス※①	H・E	
指導科目	英・数・国・理・社	週2回／19:20～21:50
受講料(月額)	17,000円(税込)	

※(a)『定期テスト対策授業』について i), ii)ともに無料です。

i)『土・日対策授業』

各中学のワーク・プリント類等きちんと把握し、原則、中学別に対策授業を行います。十分に吟味して用意した対策プリントを使い、しっかりと解説を加えます。定期テストを毎回「きちんとこなす」ことで、「実力」アップと、「内申点」の確保を図ることはもちろん、「結果」を出すことで高校入試に挑む意識を高めることができます。

●小学5,6年生については「塾生個別」のみで承ります。詳しくはお問い合わせください。

2023年・2022年卒塾生

旭丘(暁中)

明和(暁中・神守中)

向陽(神守中・永和中)

一宮(神守中)

菊里(暁中)

瑞陵(立田中・暁中・神守中)

千種(神守中・天王中・永和中)

桜台(永和中)

西春(暁中)

主要進学高校

一宮西(暁中・神守中・永和中)

松蔭(暁中・神守中・天王中・永和中)

名古屋南(暁中)

五条(暁中・神守中・天王中・藤浪中・永和中・佐屋中)

名古屋西(神守中)

東海(永和中)

他

2月24日(土)までに  
お申込みいただぐと

入塾金  
0円  
通常:10,000円(税込)

兄弟割引制度あり  
(詳細はお問い合わせください)



津島校  
津島エリア

津島校  
津島市唐臼町柳原75  
TEL.0567-32-1950

津島西校  
津島市中地町3-33-1  
TEL.0567-26-1554

### 神田塾の取り組み



#### 高い学力の習得

##### ①高い学力の習得

神田塾では、丸40年間主要5教科の完全指導を行ってきました。予習形式の授業で、授業時間をしっかりと確保することにより、極力生徒さんの負担を減らし、かつ、「実力を伸ばし結果を出してもらう」ことに傾注しています。定期テスト前の『対策授業』も加えると、かなりの時間になりますが、これからさらに本格化する『新学習指導要領』に基づく学習においては、このことが大きく効いてくると思います。(授業内容でも、特に、数学・英語を中心に、中1からレベルの高い問題に数多くあることにより、**早くから高校入試を意識してもらいたい**、かつ、動機づけの一つとしています。)ある程度の量をこなさないと、質は上がりません。「確とした学力」を身につけるには、どうしてもそれなりの勉強時間が必要なのです。また、「自信」をつけてもらう、という理念のもと、神田塾では中間・期末テスト前に『土・日対策授業』を行っています。最低でも2週間前から、土曜・日曜を利用して**学校別に『対策授業』を行い**、加えてテスト週間にいると『直前対策授業』も行います。(少人数授業のため、柔軟に対応することが可能となります。)(無料



です)これまでに習った事がしっかりと身に付いているかどうかをきちんとチェックしたうえで、少しでも良い「結果」が出来るよう、万全の策を講じます。努力するべき今、しっかりと努力し、「高い学力」を身につけて将来を力強く生きる礎としてもう、というスタンスで生徒さんの指導に当たっています。

##### ②学力格差

ここ何年間か、世界的な「経済格差」の広がりがマスコミ等を通じて取り上げられています。日本もまた例外ではなく、特にコロナ禍にあって、それは一層鮮明になって来ているようです。

教育についてはどうか。

塾で見させて頂いていると、この3年程、勉強をしっかりとやる人と、そうでない人との、はっきりと分かれています。もちろん、後者の方が圧倒的に多いのですが。そしてこの傾向は、今後一層強くなっていくものと思います。

・将来を自らの意志でしっかりと歩んで行って欲しい。塾生に対して私は心からそう願い指導させて頂いています。そのためにも、中学・高校の基礎学力はしっかりと習得しなくてはいけない、そういうスタンスで日々生徒さんと向き合っています。将来を力強く生きる礎として、基礎学力は、高いレベルで身につけるべきだと考え、指導させて頂きます。

#### 可能性の発掘

はたから見れば「たかが高校受験。」と映っているかも知れません。当初、大学受験生を見ていた私も、多分そのように感じていたと思います。が、実際に中学生を見るようになった4年目以降、その考えは全く飛んでしまいました。中学生は柔らかい。ものすごく可能性を内に秘めています。(私が最初に経験したのは、開校4年目に1学年が600名程のF中学から中3初めてに入塾して来たU君。中2の成績は学年最下位、内申点は全て「1」でした。その後が、学年末テストでは学年「2位」。地元の公立高校から某国立大学に進み、今ではその教授を務めています。このことは、神田塾の塾報『たより』(今は中断しています。)に『U君の話』として掲載し、新聞社も取材に来るなど、結構反響を呼びました。)

教室で限られた時間「ただ教える」だけでは内なる可能性を発掘することは難しいと思います。しかし、生徒さんと対峙することに「本気で向かい合えば」、発掘の可能性は十分にあると思います。それには、まずは生徒さんに今やるべき勉強に本気で取



り組んでもらう、学力を上げることに本気にならなければなりません。スマホを筆頭に、それを妨げるのに満ちている現在ですが、それでも、私たち講師が本気になって生徒さんと向き合えば必ず「何か」が見えてくると思います。

「高校受験」という、中学生にとって人生最初の門閥を、「自分は全力で頑張った。」そう後から思えるだけの努力で乗り切って欲しいと思い、指導に当たっています。ここでの頑張り(無論、中学3年間という意味です)は、決してお金

では買う事のできない一生の貴重な財産となるはずです。そして、この時期の「精一杯の頑張り」は、次にやってくる「大学受験」においても必ず生きても来ます。人によっては、その後の人生を選択することになるかも知れません。(そういった人は、過去、本当にたくさん見てきました。)